

- 平成 24 年度の我が国の科学技術関係予算(当初予算)は約 3 兆 6,915 億円となっている。
- そのうち、情報通信分野は約 1,246 億円となっている（図 1-12）。

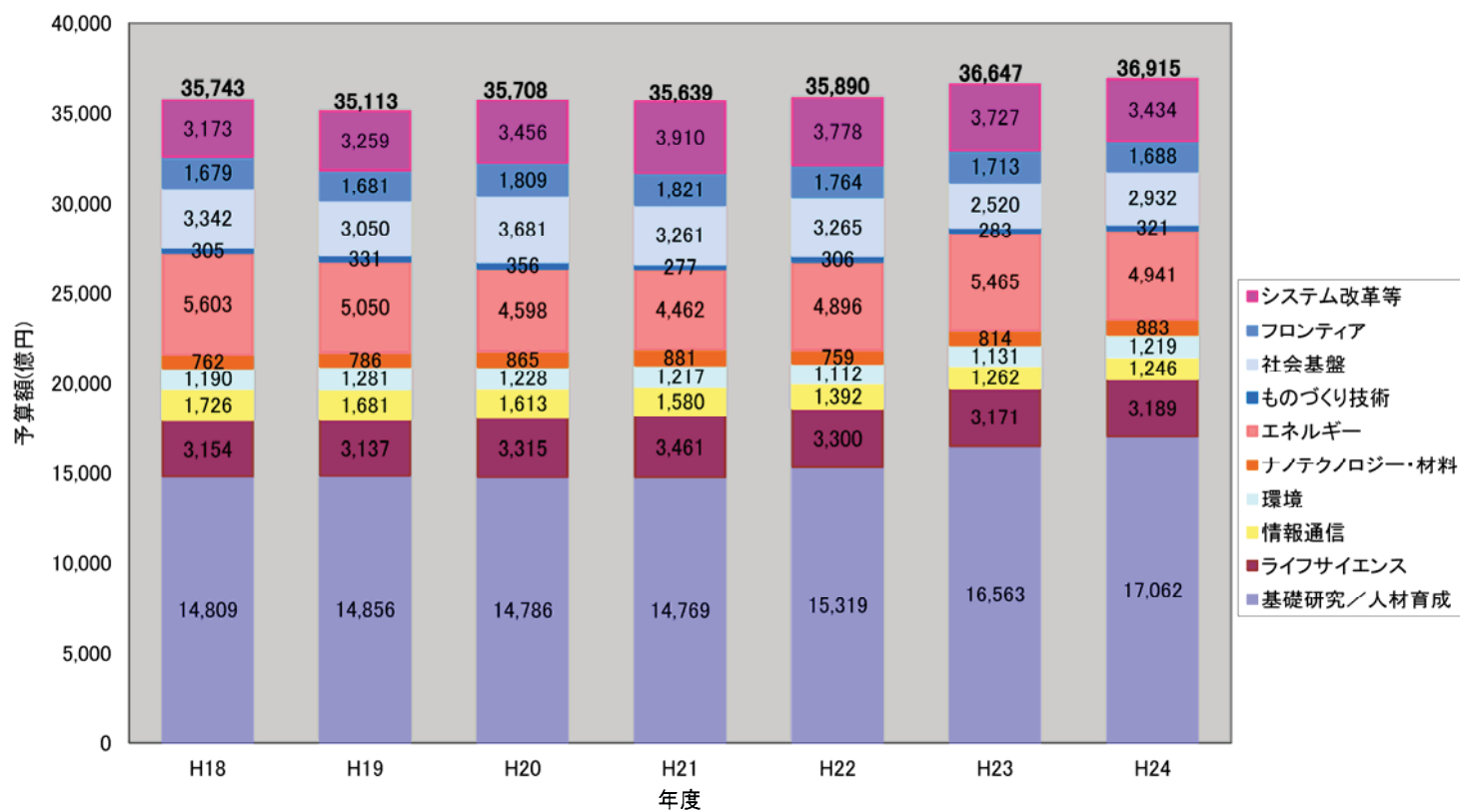
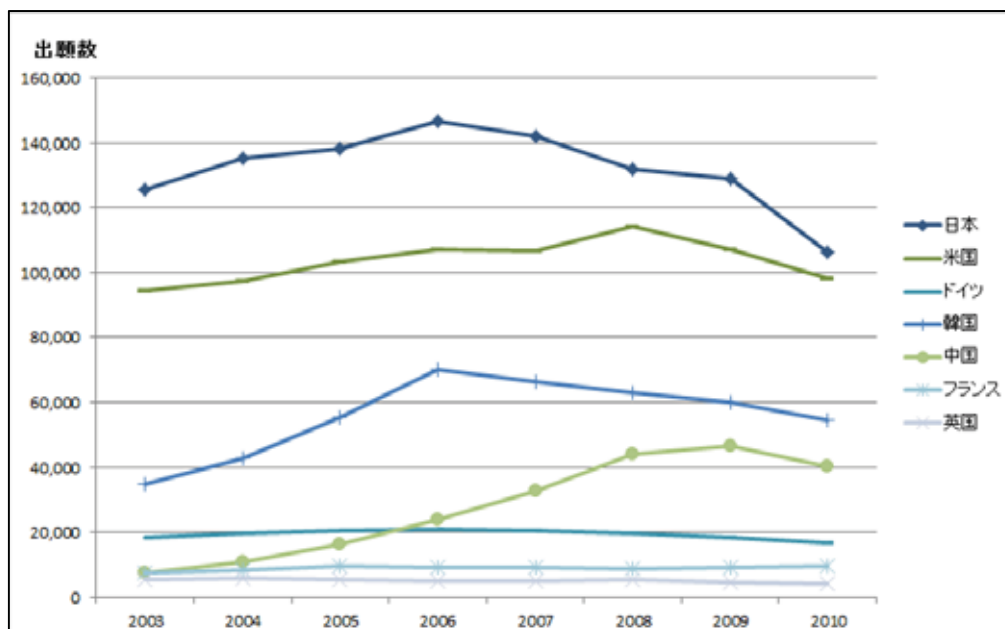


図 1-12 : 科学技術関係予算(当初)の分野別の推移(H18～H24 年度)

(出典) 内閣府 (平成 24 年 12 月) (http://www8.cao.go.jp/cstp/budget/h24yosan_bunya.pdf)

- ICT 関連の特許出願数と論文数の推移

- ◇ ICT 関連の特許の国別の出願数については、日本は 2010 年まで 1 位であるが、近年は他国との差が減少している（図 1-13）。



※分野別項目の中で、I -Electrical engineering のうち Telecommunications, Digital communication, Basic communication processes, Computer technology, IT methods for management, Semiconductors を合算

図 1-13：国別の ICT 関連特許出願数の推移 (2003 年から 2010 年まで)

(出典) WIPO Statistics Database, 2012, based on the WIPO IPC-Technology concordance table

WIPO Statics on Patents を元に内閣府作成

(<http://www.wipo.int/ipstats/en/statistics/patents>)

- ◇ 世界の総論文数は、トムソン・ロイター社の Web of Science を基にしたデータベースで一貫して増加傾向にあり、2008 年に約 140 万件弱となっている。（ただし、データベースの収録対象誌もこの間に増加していることに留意）
- ◇ 世界の総論文数のうち ICT 関連の論文数は、2009 年現在でおよそ 7 万件強となっている（図 1-14）。

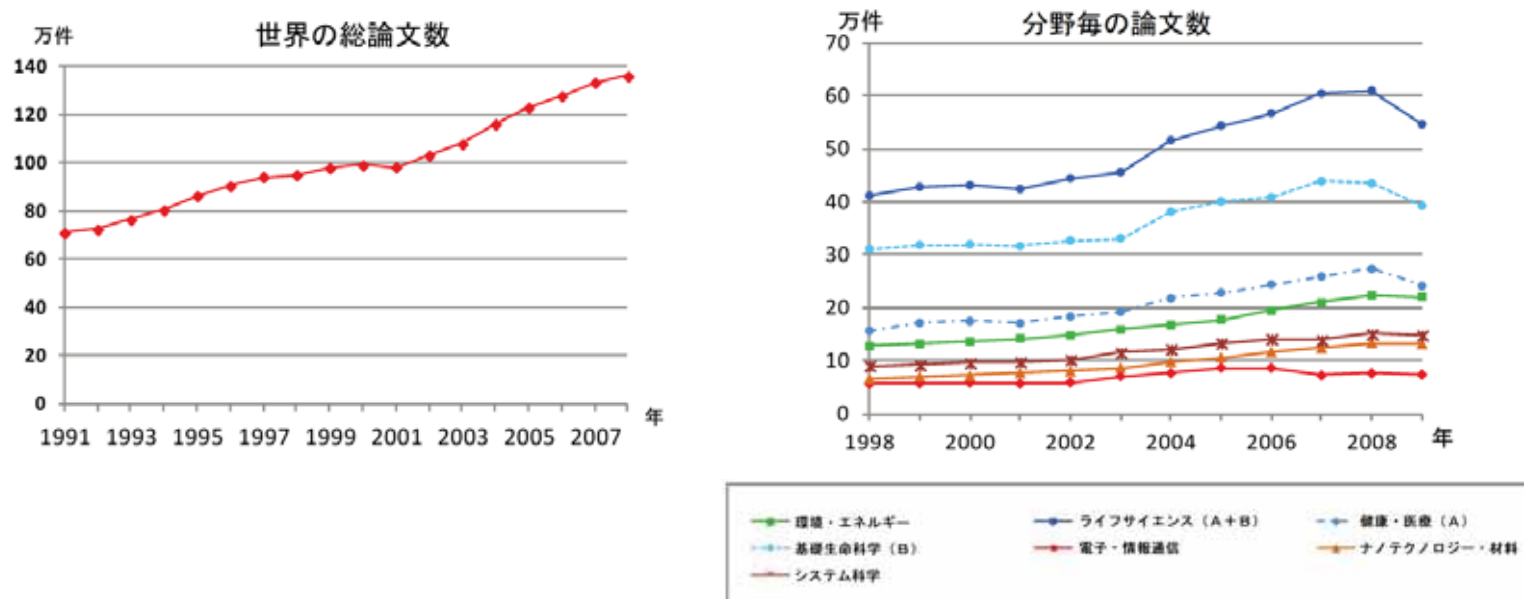


図 1-14 : 世界の ICT 関連論文数の推移

(出典) 科学技術振興機構研究開発戦略センター (CRDS) データで見る俯瞰対象分野 (2012 年 7 月)

(<http://crds.jst.go.jp/singh/wp-content/uploads/12fr01.pdf>)

- ◇ ICT 関連の論文数については米国の論文数シェアが最も大きい。ただし、近年は低下傾向にある。
- ◇ 日本は国別の論文数シェアで 2 位を保っていたが、2004 年以降では 3 位となっている。また、Top1%論文数シェアでは 2010 年現在で 4 位となっている（図 1-15）。

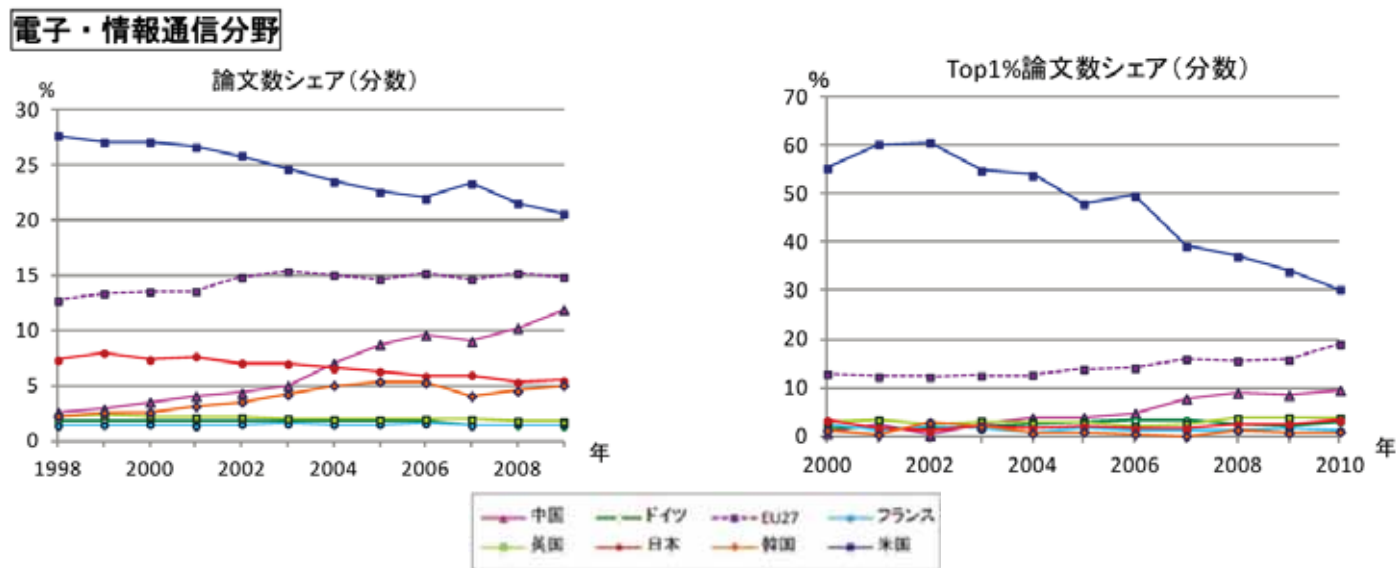


図 1-15 : 国別の ICT 関連論文数シェアの推移 (1998 年～2009 年)

(出典) 科学技術振興機構研究開発センター (CRDS) データで見る俯瞰対象分野 (2012 年 7 月)

(Top 1%論文数 : 論文数全体の内、被引用数が上位 1%以内の論文数)

(<http://crds.jst.go.jp/singh/wp-content/uploads/12fr01.pdf>)